

★「『大学における障害学生支援』調査報告書」に対する感想

賛助会員の高橋政春様からご丁寧な感想をお寄せ頂きました。

ここにご紹介させていただくと共に、心より感謝申し上げます。

今後とも当協会にご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉委員会

2024年1月16日

一般社団法人 大学女性協会

社会福祉委員会御中

寒中お見舞い申し上げます

桑折美子様におかれましては、日頃大学女性協会の社会福祉委員会におきまして、ご活躍されておられますことに、心より敬意を表します。

このたびは、当協会会報誌 JAUW 会報第 280 号に「『大学における障害学生支援』調査報告書を発行された」ことがご紹介されましたので、是非拝読したいとお伝えしたところ、早速ご送付いただきありがとうございます。送料等の負担はお言葉に甘えさせていただきます。

感想としまして

- 最初に心を込められたお手紙より、桑折様の人柄と障害学生に対する温かい眼差しを感じられました。同時に、報告書を拝読し、改めて大学女性協会は社会福祉奨学生支援を通し次の世代を育てることに大きく貢献されておられることがわかりました。
- 社会福祉委員会は社会福祉奨励金制度が制定された 1971 年より、現在まで毎年、社会福祉奨学生の募集と選考を担われておられることに感銘を受けました。

また、お手紙と報告書より、ある年の奨学金贈呈式での社会福祉奨学生の受賞スピーチで、重度障害者が大学を受験したいと向学心に燃えな

から受験先を探されたところ、障害者に対する受験そのものを可とする大学が非常に少なく選択の余地がなかったと言われた率直な気持ちを大切にしたいと受け止めました。同時に、現実の関門の存在があることなど初めて知ることができました。このため、障害学生について理解を深める良い機会を与えていただき、感謝しながらこれからも関心を持ち続けたいと思います。

社会福祉奨学生としてご支援を受けられた皆さんは半世紀余に及ぶ長期間において、それぞれの分野でご活躍されておられることがわかりました。その代表的な方に、一般社団法人全国障害学生支援センターを訪問された時、厚意的に対応された、センター事務局長の殿岡栄子氏がおられるのではないのでしょうか。栄子（旧姓三村）氏は1996年度の社会福祉奨学生であったことをご紹介されとても嬉しくなり、このことをもって訪問された目的は十分に達成されたものと拝察いたしました。

桑折様が遠藤理枝様とともにセンターを訪問された内容は大変参考になり、私もご一緒に随行できた気持ちで多くのことを学ぶことができましたし、センターの役割はとても大切なこともわかりました。

「障害者差別解消法」全面施行前後に大学に在籍していた2013年度～2022年度の社会福祉奨学生24名を対象に、調査票を送付し協力を依頼されました。うち9名の社会福祉奨学生からの回答を得た聞き取り調査からは、【支援に関する相互理解のためには、何よりも本人と大学との対話の重要性が改めて浮き彫りになったのではないだろうか。そのためには、障害学生支援を専門とする専任教職員や相談員の介在が不可欠と思われる。】とありました。このことは社会福祉奨学生として勉学・研究に従事され貴重な実績とともに、当協会に全幅の信頼を寄せられている立場から忌憚のない回答をされたものと思われまます。都合により回答されなかった方も社会福祉奨学生としてご支援された当協会に感謝されておられる姿が目に見えます。

- 「大学案内 2019 版・2024 版障害者版」の膨大なデータからの読み込みと一部各大学のホームページからの収集などに多大な時間を費や

されたことは筆舌に尽くし難い大変なご苦勞がありました。そのことから『大学における障害学生支援』調査報告書が充実された内容に纏められたことに頭が下がりました。また、コロナ禍で調査活動の中断を余儀なくされたことがありましたが、報告書作成は大学女性協会本部と茨城支部の歴史に特筆される取り組みになったのではないのでしょうか。

○ 【障害者支援法や障害者差別解消法等が成立し支援の充実が法的にも規定されている状況で設立した歴史が浅い大学の方が、配慮がより行き届いているのではないだろうかと推察される。】とありましたことは大学の設立後の歴史の長短でなく、大学の障害学生支援に対する根本的な考え方によるものと思いました。今後、大学の障害学生支援の取り組みについて支援を受ける側と支援を行う側とのコミュニケーションが充実されてくると、社会的関心が高まってくれば、障害学生支援が拡充するものと期待できるのではないのでしょうか。

○ 当協会会報誌「JAUW 会報第 266 号」に桑折様ご紹介されました「第 47 回 社会福祉奨学生選考にあたって」と「大学における障害学生支援実態の見学」（報告書にも掲載あり）からも多くのことを理解できました事を嬉しく思います。

中山正子様は大学女性協会の賛助会員として多くのことを勉強させていただききっかけを作ってくださいました特別な方です。おかげさまでいつも会報などから、学べる喜びを実感しながら視野が広がっております。機会がありましたとき中山様によろしくお伝えください。

大学女性協会のさらなるご発展と桑折様の益々のご健勝を願い、お礼といたします。誠にありがとうございました。

高 橋 政 春